

庄内支庁記者会 各位
(管内報道関係機関 各位)

～福祉事業所の挑戦！広がる室内水耕栽培の魅力を紹介～ 「令和6年度庄内地域農福連携現地視察研修会」を開催

農業者と障がい福祉サービス事業所との相互理解を深めることで新たな農福連携のきっかけを作ることを目的に、標記研修会を下記のとおり開催します。

今年度は、酒田市内で室内水耕栽培を行っている「すこやかワクワーク」（就労継続支援B型）で現地視察等を実施します。

つきましては、当日の取材について御協力くださるようお願いいたします。

【事業概要】

1 日時及び場所

令和6年9月27日（金） 午後1時30分から午後3時30分まで

現地視察：「すこやかワクワーク」（酒田市こがね町二丁目3-1）
（午後1時30分から午後2時15分まで）

座学研修：酒田農業技術普及課 講堂（酒田市若浜町1-40）
（午後2時30分から午後3時30分まで）

2 内 容

現地視察：室内水耕栽培施設での播種・定植作業等
（栽培している野菜の例）

- ・ オテリー（レタスの仲間）
- ・ ウエバー（ベビーリーフの一種）
- ・ ルッコラ、水菜、サンチュなど

座学研修：事例発表

「すこやかワクワーク」 所長 板垣卓渡 氏



写真：播種作業の様子

写真：収穫作業の様子

3 参集範囲

農業協同組合、障がい者就労関係事業所、社会福祉協議会、
特別支援学校、市・町農林・福祉担当課等 約 25 名

4 主 催

山形県農福連携プロジェクトチーム庄内地域部会※
(事務局：庄内総合支庁地域保健福祉課)

※ 山形県農福連携プロジェクトチームの地域版。(設置：令和元年5月)
庄内地域の関係機関・団体等が連携し、地域における農福連携による障がい者の就労機会の拡大と農業労働力の確保に向けた取組み等を推進することを目的とする。

5 その他

当日取材を希望される場合は、開催前日までに下記担当あて御連絡をお願いします。

農福連携とは

障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組み。

このことにより、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もある。

「すこやかワクワーク」について

令和4年9月開所。定員20名。(運営：株式会社Blue Border)

利用者は、自身の体調に合わせて、水耕栽培の葉物野菜に係る播種、定植、収穫から袋詰めまでの一連の作業に年間を通して従事している。

令和4年度の平均工賃月額は、21,673円。(山形県平均：14,037円)※

※ 県ホームページにて公表



問い合わせ先

保健福祉環境部地域保健福祉課

担当 地域福祉支援専門員 佐藤 亘

電話 0235-66-5462

報道監 総務企画部長 早坂 誠司